

第4回科学者委員会男女共同参画分科会議事要旨（メール審議）

1 議決日 平成24年7月18日（水）

2 審議内容

提案1 「雇用崩壊とジェンダーに関するシンポジウム」（主催：日本学術会議・社会学委員会複合領域ジェンダー分科会）からの共催名義の依頼について

3 結果

提案1について、原案のとおり承認され、幹事会に提案されることとなった。

雇用崩壊とジェンダーに関するシンポジウムの開催について

1. 主 催

日本学術会議・社会学委員会複合領域ジェンダー分科会

2. 共 催

社会学委員会ジェンダー研究分科会
史学委員会歴史学とジェンダーに関する分科会
法学委員会ジェンダー法分科会

3. 日 時

2012年10月13日(土) 13:00～17:00(予定)

4. 場 所

日本学術会議講堂(予約済み)

開催趣旨

雇用崩壊というべき現象がおきている。低賃金で不安定な非正規雇用は、最近30年の間に急速に増加し、今や全労働者の3分の1を占める。

女性や若年層では過半数が非正規労働者だが、リーマンショックや東日本大震災を契機に、これら非正規の大幅な雇い止めが行われた。

一方、正社員も安泰ではなく、長時間・過密労働によって過労死が増え、深刻なうつ病に罹患する人も多い。

日本社会は大きな変化の渦に巻き込まれ、働き方は二極化し、雇用全体が崩壊しつつある。

しかしジェンダーの視点でみると、この現象は今に始まったことではない。

雇用上の性差別によって、女性は正社員としての就労機会を制限され、非正規のパートや派遣労働者として働いてきた。

しかしこの間、国は、均等待遇原則の実効性を強化する施策よりはむしろ、企業利益重視の経営戦略を積極的に後押しする規制緩和政策を推進してきた。

その結果が、女性のみならず、すべての労働者を巻き込んだ現在の雇用崩壊を招いているのである。

7. 次 第

司 会

岡野八代(同志社大学・学術会議連携会員)

後藤弘子(千葉大学・学術会議会員)

報告予定者

- 1)「非正規雇用問題・パート派遣について」中野麻美(弁護士)
- 2)「男女賃金格差について」竹信三恵子(和光大学)
- 3)「専門職の非正規問題 — 女性医師の場合」桃井真理子(自治医大)
- 4)「国際比較の観点から」田宮遊子(神戸学院大学)

コメンテーター

大沢真理(東京大学・学術会議会員)

浅倉むつ子(早稲田大学・学術会議会員)□